令和４年度　高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔21〕「女性の街づくり」マーケティング （秋田は女性にとって住みやすいまちですか？）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授　嶋崎　真仁（計3名）
授業概要	秋田を「女性の住みやすい街に」。そのために何が必要か？マーケティングにおける調査手法「商品企画七つ道具」を活用して、アンケートを設計、実施、解析を通じて、皆さんと一緒に明らかにしていきます。		
授業方法と留意点	秋田に愛着があり、問題意識を持っている女性の皆さんに参加してもらいたいです。若干の数学的知識とパソコンで「MS-Excel」などの表計算ソフトを使います。もし**手持ちのパソコンがあれば持ち込んでください。**		

授　業　計　画

【募集定員人数１５名】先着順で募集を締め切ります

＜６月２３日（木）17：30～19：00＞　**准教授 嶋崎 真仁・助教 竹内 仁哉**

第１講：**「なぜ「女性の街づくり」が必要か・商品企画七つ道具を学習しよう」**

この授業で使用するマーケティング手法「商品企画七つ道具」の概要を紹介します。この手法ではグループインタビューを通じてニーズの探索とアイディアの絞り込みを行い、アンケートを分析して重要視するニーズを選び取ります。

＜６月３０日（木）17：30～19：20＞　**准教授 嶋崎 真仁・Venus Club 代表 竹下 香織**

第２講：**「グループインタビューをやってみよう」**

この街に住み続けるにはどのような要素が必要か？これは年齢を重ねて初めて分かることが多いので、受講者の皆さんから見て様々な経験をしている女性から情報を得て、街づくりに必要となる要素をたくさん割り出します。

＜７月　７日（木）17：30～19：00＞　**准教授　嶋崎　真仁**

第３講：**「アンケートを設計してみよう」**

この街を評価するアンケートをつくってみる。アンケートはGoogleFormsを用いてオンラインで採れるものにし、授業終了後にLINEやQRコードを使って調査依頼を行います。

＜７月１４日（木）17：30～19：00＞　**准教授　嶋崎　真仁**

第４講：**「アンケートを解析してみよう」**

アンケートの解析を実際にやってみて、アンケートを設計したときの仮説が正しかったかを検証します。

＜７月２１日（木）17：30～19：00＞　**准教授 嶋崎 真仁 ほか**

第５講：**「提言のプレゼンテーション」**

アンケート結果を使い、県庁や市役所の担当者に提言するプレゼンテーションを作成・実施して、関係者からのアドバイスを受けます。

その他	情報：カレッジプラザ、中通サテライト（秋田市中通2丁目1－5 明徳館ビル2階）				
テキスト					
参考文献					
関連科目					
開講日時	６/２３（木）	６/３０（木）	７/７（木）	７/１４（木）	７/２１（木）
	17：30～19：00				
会場	中通サテライト	カレッジプラザ	中通サテライト	中通サテライト	カレッジプラザ
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9：00～17：00）　E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp				